

【説明資料】

令和3年度 国内における 米空軍機からの降下訓練について

令和3年6月
防衛省

令和3年度 国内における米空軍機からの降下訓練について

訓練の目的

米空軍機を活用して固定翼機からの降下回数の増加を図り、空挺作戦に必要な戦術技量の向上を図るためです。

実施場所

降下場所は、東富士演習場（静岡県）の使用を検討しています。この他、隊員を搭乗させるため、米空軍横田基地（東京都）の使用も検討しています。

実施期間

令和3年7月20日（火）～22日（木）の実施を予定しております。

演習の内容

- 全国各地で実施している空挺部隊の練成訓練の一環として、今回、米空軍機を活用し、東富士演習場において、降下訓練及び物資投下訓練の実施を予定しています。なお、米空軍機からの国内での降下訓練は令和元年7月・11月に日出生台演習場（大分県）、昨年7月に王城寺原演習場（宮城県）、8月に北海道大演習場（北海道）（※天候不良により、降下自体は見送っています。）、9月に習志野演習場（千葉県）、本年3月に東富士演習場（静岡県）、5月に習志野演習場（千葉県）で実施しております。
- 米空軍機から降下するのは、陸上自衛隊員であり、米軍人の米空軍機からの降下はありません。
- 訓練は、新型コロナウイルス感染症への対策を万全に期するとともに、訓練における安全管理を徹底し、周辺住民の皆様の生活に影響を及ぼさないよう、配慮いたします。

令和2年度 国内における米空軍機からの降下訓練について (イメージ図)

東富士演習場での訓練のイメージ



米軍横田基地での訓練のイメージ



○ 米軍横田基地の離発着時間について
降下訓練では、1200～1730の間で離発着を予定しています。
また、物資投下訓練では、1800～2030の間で離発着を予定しています。

期 間	令和3年7月20日（火）～22日（木）	
訓練実施場所	東富士演習場	
参加規模	陸 自	第一空挺団（人員約300名、車両約20両）
	米 空 軍	第五空軍第374空輸航空団（C-130J 2機）
主要訓練項目	陸自隊員による降下訓練及び物資投下訓練	

米空軍機は、米軍横田基地～東富士演習場～米軍横田基地の経路で飛行します。